

解説記事

英文

- 1) Yasutaka Ogawa, Norihiko Kohyama, Shunichi Araki (2003) Dioxins in occupational and environmental health: update (Preface). Ind Health 41,125.

和文

- 1) 荒記俊一 (2003) いわゆる過労死の産業保健対策. 医報とやま No.1332, 20-24.
- 2) 荒記俊一 (2003) 乳幼児の鉛曝露と健康影響. 日本医事新報 No.4122, 110-2.
- 3) 荒記俊一 (2003) 開会講演「日本における労働衛生研究戦略の推進」. 労働衛生重点研究推進協議会第二年次報告書, p65-67.
- 4) 荒記俊一 (2003) 結言. 労働衛生重点研究推進協議会第二年次報告書, p55-56.
- 5) 原谷隆史 (2003) 誌上討論 回答: 産業医・精神科主治医の独立性・中立性に関する考察. 産業精神保健 11(3), 275-276.
- 6) 久永直見 (2003) 岐路に立つマレーシアの労働衛生. 労働基準 2003年2月号, 14-17.
- 7) 久永直見 (2003) マレーシアの労働衛生は今. 安全衛生コンサルタント 23(66), 57-60.
- 8) 久永直見 (2003) 東南アジアの労働衛生事情 マレーシア. 働く人の安全と健康 4, 692-693.
- 9) 久永直見 (2003) 東南アジアの労働衛生事情 マレーシア. 働く人の安全と健康 4, 782-783.
- 10) 岩崎健二 (2003) 脳・心臓疾患の労災認定基準改正 (2001年12月) の経緯とポイント. 労働の科学 58, 37-41.
- 11) 岩崎健二 (2003) 疲労がたまる仕組み、ためない方法. Howto 健康管理 225, 11-13.
- 12) 岩崎健二, 島 悟 (2003) 仕事で燃えつきてしまわないために. 暮らしと健康 58, 38-42.
- 13) 岩崎 毅, 奥野 勉, 田口信康, 藪田十司, 黒木孝一 (2003) 溶接作業に係わる作業環境管理の現状と今後の課題. 作業環境 24(6), 4-20.
- 14) 菅野誠一郎 (2003) 拡散サンプリングについて. 産業衛生学雑誌 45, A13-A14.
- 15) 神山宣彦 (2003) 港湾荷役作業と鉱物粉じん - シリカ・石綿・石綿代替繊維 -. 港湾防災 458(平成15年2月号), 18-20.
- 16) 前田節雄 (2003) 全身振動からみた快適な港湾作業機械の選択方法について. 港湾防災 460(平成15年4月号), 14-18.
- 17) 前田節雄 (2003) 全身振動曝露評価から見た沖縄「ゆいレール」. モノレール (日本モノレール協会誌) No.105, 23-36.
- 18) 毛利一平 (2003) 進む職場の情報化, 新たな労働態様と心身の健康. 安全衛生コンサルタント 23, 49-55.
- 19) 毛利一平, 荒記俊一 (2003) 肺癌、心肺疾患による死亡と大気中微小粒子汚染への長期曝露. JAMA 日本語版 1月号, 76-86.
- 20) 明星敏彦 (2003) 労働衛生保護具 (粉じん). 産業衛生学雑誌 45, A31-32.
- 21) 奥野 勉 (2003) レーザー用遮光保護具 (レーザー保護メガネ) の使い方. 産業保健 21 31, 18-19.
- 22) 奥野 勉 (2003) ISO/TC94/SC6 およびその第2回国際会議について. セイフティダイジェスト 49(10), 13-17.
- 23) 斉藤 進 (2003) パソコン作業を快適にするために. 医業経営情報 99号, 24-25.

- 24) 澤田晋一(2003)ISO/CD7933:暑熱環境 - 暑熱負担予測指標の計算による暑熱ストレスの解析.人間工学 ISO/JIS 規格便覧 2003, 日本人間工学会 ISO/TC159(人間工学)国内対策委員会編.
- 25) 澤田晋一(2003)ISO/CD8996:人間工学 - 代謝熱産生量の算定法.人間工学 ISO/JIS 規格便覧 2003, 日本人間工学会 ISO/TC159(人間工学)国内対策委員会編.
- 26) 澤田晋一(2003)ISO/CD15265:温熱環境の人間工学 - 作業温熱条件におけるストレス・不快感のリスクアセスメント.人間工学 ISO/JIS 規格便覧 2003, 日本人間工学会 ISO/TC159(人間工学)国内対策委員会編.